

2015-B					
拠出金・基金の 名称		国連大学拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】国連大学(UNU)					
【所管官庁担当局課・室名】原子力規制庁長官官房総務課広報室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京電力福島第一原子力発電所事故の影響に関する詳細な情報を収集し、その実態を明らかにする。</li> <li>・放射性物質や地震や事故で損傷した原発等に対する不安への対応に関し、心理的影響などについて、調査研究を行う。</li> </ul>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	70,000			円建て	0
平成26年度	70,000			円建て	0
平成25年度	70,000			円建て	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>東京電力福島第一原子力発電所事故の原因の一つとして、各事故調査報告書等では、国や国民が安全神話に陥っていたことが指摘されている。また、ニーズをとらえた国内外への情報発信が十分にできていなかったことが指摘されている。このような観点から、国内外から日本の原子力規制に対する信頼を確保するため、国内の人々の原子力に対する意識、リスクの捉え方、人々が直面する様々な課題を把握し、それらを原子力規制行政の情報発信の方法に反映させることを目的とする。福島県等の被災地域におけるインタビュー及びIAEAや国内外の原子力関係の有識者との意見交換を行い、収集した情報を分析して、今後の情報発信のあり方についての提言をまとめており、我が国の原子力に関する情報発信活動の改善等に役立てられるものと評価する。</p>					